



国際会長主題 「私たちは変えられる」(Yes, we can change)
 アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action)
 東日本区理事主題 「為せば成る」 (No challenge, No fruit)
 東新部部長主題 「ワイズの楽しみは、今、そしてこれから」
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」
 Enjoy your club-life!

Moon Sang Bong (韓国)
 田中 博之 (日本)
 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
 神保伊和雄 (東京むかで)
 朝倉 正昭 (東京世田谷)

会長 朝倉 正昭
 副会長 松井 直樹
 書記 太田 勝人

2019年4月会報

強調テーマ

* L T *

Leadership Training

会計 寺門 文雄
 直前会長 寺門 文雄
 担当主事 岡田 ナスカ

↑ 今月の聖句

はっきり言っておく。1粒の麦は、
 地に落ちて死ななければ、1粒のままである。

だが、死ねば、多くの実を結ぶ。

Most assuredly, I say to you, unless
 a grain of wheat falls into the ground
 and dies, it remains alone; but if it dies,
 it produces much grain.

ヨハネによる福音書 12章24節 (寺門 選)

司会

峰 毅 君

1. 開会点鐘

朝倉 正昭会長

2. ワイズソングと信条

一 同

3. ゲストとビジター紹介

朝倉 正昭会長

4. 今月の聖句朗読

食前の祈り

寺門 文雄 君

5. 会食

6. 卓話 「高齢化問題について」

松井 直樹 君

7. ハッピーバースデー

なし

結婚記念日

なし

8. ニコニコ献金

9. 諸報告

10. 閉会点鐘

朝倉 正昭会長

※ 4月例会プログラム

とき 4月19日(金) 18:30~20:30

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

3月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者	3/22日(金)	3月のBF 切手 0g 現金 円 累計切手 0g	ニコニコファンド 3月 16,470円 年度計 87,035円 ベーコンファンド3月 10,000円
	出席率	93%	会員	11名		
	第2例会	3/28日(木) (10名出席)	メネット	0名	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2018年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会(JOCS) に年会費10,000円を納入し継続しま した。	注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティーコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行っ ている。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	朝倉、岩崎、太田、小川、 小原、川嶋、寺門、張替、 松井、村野、	メイキャップ	0名	ビジター		
		合計	35名	すずらん会参加者	3月/28日 (木)	
				ゲスト	41名	
				スタッフ	14名	
				合計	55名	

※ 本日のメインプログラム

今月の例会では東京世田谷クラブの書記を務めておられる、松井直樹ワイズにライフワークである高齢化について、「高齢化問題を考える」と題し、お話を頂きます。高齢化の問題は我々国民がそれぞれ自身の問題としてとらえるべき事柄です。

(朝倉 記)

卓話者ご紹介

(株)ヒューマン・ヘルスケア・システム 代表取締役社長 1949年、東京都中央区日本橋馬喰町に生まれる。中央大学法学部政治学科卒業後、キリスト新聞社入社。87年、高齢社会の福祉専門新聞のシルバー新報の創刊を担当。91年、現在の会社を創設。96年、医療と介護の経営ジャーナル「シニア・コミュニティ」創刊。ヘルパー2級取得。日本キリスト教団三鷹教会教員。

※ 2月例会報告



今月は、東京西クラブをお迎えしての合同例会で、日本の原発ビジネスに黎明期からパイオニアとして半生にわたり従事してきた小倉志郎さんに、「元原発技術者が伝えなければならないことを「隠されつけてきた原発のほんとうの怖さ」と題して、語っていただいた。

冒頭、昔懐かしいコスチュームで、自作の紙芝居を使って放射能汚染のメカニズムと危険性についての分かりやすい導入の後、クロノジカルに、フレッシュマンとしての柏崎刈羽原発の建設現場での仕事、そして本社復帰後入社16年目にして福島第2原発で6年間のメンテナンス作業に従事したこと、そのことを通して、原発はダメだと思い知ることになったこと、次いで79年米国スリーマイル事故、86年チェルノブイリ大惨事の発生、5年後にはソ連邦が崩壊するなどの歴史的体験から、原発というものの実体と危険性を世に知らしめることが自分の義務だと自覚し、求めに応じ2007年に雑誌「リプレーザ」N03に「原発を並べて自衛戦争はできない」という一文を寄稿した経過を縷々語られた。

また原発は発電と等量の放射能を生むこと、シーベル



トという単位がきわめて実体をわかりにくくさせていること、外部被ばくと内部被ばくは別物なのに内部被ばくが無視されようとして

いること、そして1mmシーベルトが限界のところ、福島では20mmシーベルトで帰還作業が開始されようとしていることなどに強い疑念と懸念を示され締めくくられた。当夜は時間の制約上残念ながら触れられなかった小倉さんの主張の核心を、筆者の判断で、以下参考までに付記しておきます。

小倉さんは2017年3月17日衆議院・環境委員会に於いて「原発の安全性を強化するための法律改正案」審議のための4名の参考人のひとりとして自説を陳述されました。私(張替)はNHK・TVの生中継でその一部始終を固唾をのんでを覗いていましたが、他の参考人が当たり障りのない陳述を繰り返す中、最終バッターとして登場した小倉さんは、ひとり「原発は全体が分からない人間が集まって運転している非常に危ういものです」と、きっぱりと勇気ある発言をされました。以下は関連引用ですが、「それは、1990年代になって、放射能を絶対に出さないという設計で造られた原発に放射能を外に出す「ベントライン」という装置をつけたことです。これによって、原発の安全性は破綻していたのだと。つまり原発が“生命の安全をまもるために放射能を絶対に出さない”から、放射能を出している原子炉の爆発を防ぎ“電力会社の経営を守る”に変わってしまったということです。さらに、原発は巨大で複雑怪奇な代物であり、“その全体が見えないまま運転されているものだ”とも(2017/4/26PKO法「雑則」を広める会会報より引用)この引用の中に、これからの日本の原発事業が取るべき方策への明確な答があるのではないのでしょうか。西・世田谷両クラブメンバーにゲストを併せ35名が3階会議室を満席に埋め尽くした大震災発生8年目の、記憶に留めるべき一夜でした。

(張替 記)

☀ 第2例会報告

- 1 4月ブリテンについて：原稿締め切り日と印刷日を決める
印刷日：4月9日（火）16：00
- 2 報告事項：
3月16日（土）東新部次期役員準備会（その2）
東陽町・専門学校
3月18日（月）東新部部大会開催
第1回実行委員会
3月22日（金）3月合同例会プログラム
南コミュニティーセンター3F
4月以降の担当主事の件など

3 協議事項

- ① クラブEMCアンケートについて
- ② 第22回東日本区大会について
6月1日（土）～2日（日） 参加者確認
- ③ 第28回アジア太平洋地域国際大会開催
7月19日～21日仙台 参加者確認
- ④ 小川次期東新部部長での体制作りへの取り組み
会計処理の件
- ⑤ 部大会の実行について 別紙
- ⑥ 5月以降の卓話者について 鈴木祐輔さん
- ⑦ その他
寺門文雄ワイズからの今後の組織体制の在り方について
東京西クラブ4月例会
4月18日 18:45～21:00
「ウェルファーム杉並」各自申し込みとする。
6月「評価する日」について
南センターで、お弁当にて開催する。

☀ 東京YMCAにほんご学院卒業式に出て

3月19日、東京YMCA社会体育専門学校2階演習室に2018年度にほんご学院の卒業式が催された。今年の卒業生はベトナム、韓国、中国を中心に70名（内1名は既卒生）来賓、スタッフを併せ100名の立派な会であった。日頃の教授陣の薫陶のたまものか日本人の学校以上に日本的で礼儀正しく、時折は在校生の励ましの声を交えたなごやかな式であった。去年は感涙にむせんだ小野校長も今年は終始にこやか、創世記の“はじめに言葉ありき”を引き前途を祝した。Yを代表した松本主事の励ましの言葉に素直に聞き入る彼らをみながら、今度は自分達が彼らの言葉を学ぶ番だが、アジアの多様な言語文化は、かなり手ごわいな、と正直思った。

年々歳々国策として野放図な海外旅行客誘致が加速される中オリンピック目前の我が国の受け入れ体制の脆弱さを考えると真の国際化の前途は多難、4月より拙速に導入される外国人労働者拡大政策なども、学院卒業生の

みならず真摯に日本を学ぼうとする海外の若者達を失望落胆させるものであってはならない、とそんな感想をも持った。この日の来賓は世田谷クラブの他に東京クラブ加藤副会長、ICOJapan NGUYENさん、Yスタッフ・教職員併せて30名。

（張替 記）

☀ せたがや居場所サミットに出展

東京世田谷ワイズメンズクラブ・YMCA すずらん会。2019年3月21日（春分の日）に、駒沢公園にも程近い駒澤大学のキャンパスで開催されたせたがや居場所サミットに参加しました。ケアする社会は「居場所」からこのキャッチフレーズで、高齢者・子育て・障害者・コミュニティーカフェ・子ども食堂・シェアハウス・介護家族・認知症カフェ・地域デイ・サロンなど59団体が集いましたが、例えば、おなじみの社会福祉協議会、私の住む「笑恵館」、子ども食堂みのり、などなど。そのなかで、富田ワイズの孫メットの悦ちゃんに会いました。悦ちゃんはチャイルドセラピストで整体師となって「eye育おやこ整体屋」のオーナーさんでした。また、三軒茶屋の歌声ひろばで一緒に世田谷ボランティア協会のスタッフ鈴木祐輔さんが、東京メディエーションセンター代表理事として立派にプレゼンをしてくれました。紛争解決の新しい手法ですので、世田谷ワイズの5月例会で卓話をお願いすることになりました。

世田谷ワイズとしては、中高生カフェも含めて、居場所としてのすずらん会を報告しました。

（小川 記）

☀ 会長通信 1904

3月には、我々をめぐって個人的にもY'sメンズクラブにおいても色々考えさせられる事が、ありました。まずは、例会での「隠され続けてきた原発の本当の恐ろしさ」と題された小倉志郎さんの卓話です。小生も個人的に数度の石巻でのワークの帰途に、常磐道に入るとすぐ目にする線量計とその数値、あらゆる道路（路地を含む）を塞ぐ竹矢来のようなバリケードに次ぐバリケード、至る所に積み上げられている除染をした土の入った黒い袋の山を目にしてきました。政府の楽観的な見解を耳にするにつけ、どうしてそのような見方が出来るのかと不思議に思っていましたが、小倉さんのお話を伺って、放射線の人体に与えるほぼ永久的な影響が、今までになく深刻な問題であるという事を再認識させられました。TMIの事故、チェルノブイリの事故、福島原発の事故等深刻な事態を目にしてなぜ世界的な規模での、科学的な追及、検証が進まない事に対する政治の責任感のなさに

無力感を強く感じると共に、次代の人間にどのように責任を果たすのかと深く考えさせられました。今ある問題を解決するには問題の本質を徹底に分析し、本質に関わる事象を一つ一つ解決していかなければ解決できない事は、科学の世界でも、政治の世界でも変わりはないというのは周知の事実なのですが。

Y's メンズクラブでの問題は、少子高齢化に伴う問題で、組織を挙げて会員増強に取り組んでいますが、これも小生には根本の問題の本質を分析せず、戦術的な対応策に終始している様に感じます。(小生は、批判のために批判する意図は全くありません)各種のスローガンには、「私達は変えられる」、「アクション」、「為せば成る」とか大変もつともな言葉が並んでいますが、それぞれの会員がこれらの言葉を具体的な行動につなげられるまで理解できているのでしょうか？先の問題も我々の問題も、複合的な原因に根差すだけに、参加者の全員の理解が不可欠だというのが小生の心情です。4月の例会では、「高齢化問題を考える」をテーマに、この問題の専門家である松井ワイズに卓話を頂きます。皆さん積極的に参加しましょう。

(朝倉 記)

* 今後の卓話予告

- 4月 松井直樹 君 「高齢者問題を考える」
5月 東京メディエーションセンター代表理事
鈴木祐輔さん
(世田谷ボランティア協会スタッフ)

6月 評価

* 今後のスケジュール

- 4月9日(火) 14:00 小川次期東新部部长での
体制作りへの取り組み 南センター
16:00 プリテン印刷

その後、部大会の実行について

- 4月10日(水) 東新部第3回役員会
4月12日(金) 下北沢すずらん会
4月17日(水) ボラセン歌の広場、三茶
4月19日(金) 第1例会 南センター
卓話者：松井直樹
4月20日(土) 13:30 第3回東新部評議会
東京西早稲田本部
15:00~17:00
次期クラブ役員研修会(会長・書記・会計)
4月25日(木) YMCA すずらん会 第2例会

<p style="text-align: center;">第22回東日本区大会開催 6月1日~2日 「オリンピック記念青少年センター」 ホスト：東京サンライズクラブ</p> <p style="text-align: center;">第28回アジア太平洋地域国際大会開催 7月19日~21日 仙台</p> <p style="text-align: center;">東新部部大会開催 10月12日(土) 銀座・ライオン 企画：石巻との交流会など</p>

☀ YMCA NEWS

私、岡田は6月から米国にありますフロストバレーYMCAに転勤となります。そのため3月末を持って担当主事を外れることになりました。初めての海外生活に今から不安でいっぱいです。

2年間担当主事を務めさせていただきました。皆さんが優しく迎え入れてくださり、可愛がってくださいました。また、たくさんのごも勉強させていただきました。担当主事として力不足でご迷惑をおかけしながらも、私にとっては大変居心地のいいクラブでした。この小さなコミュニティーセンターが賑やかで活気のある場所、そして誰かの居場所でありつづけることが私の願いです。小さなセンターにはワイズの存在は大きな力となります。リーダーを励まし、育て、地域と共に歩む存在でいてくださることに感謝します。これからも「南コミュニティーセンター」そして新設される「YMCA保育園ねがい」をどうぞよろしく願いいたします。2年間、誠にありがとうございました。

4月からは南センターも新体制となります。1年間お世話になりました池端謙昭は4月より西東京センターへ異動となります。新たに西東京センターにおりました廣瀬匠(ひろせたくみ)が加わります。担当主事はコミュニティー統括の中里敦が担当させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(岡田ナスカ 記)

【東京YMCA・南センター今後の予定】

- 4月11日 第29回チャリティーゴルフ大会
(レイクウッド総成カントリークラブ)
4月13日 第23回高石ともや バングラデシュ
奨学基金チャリティーコンサート
(日本基督教団浅草教会)
4月14日 小学生定例野外活動
4月16日 南活動委員会
4月21日 幼児定例野外活動